

平成26年 10月20日
国土交通省
富士砂防事務所

お知らせ

1. 件名 「第8回由比地すべり対策検討委員会」検討結果について

2. 概要 静岡県静岡市清水区由比地区（サッタ山）は、重要交通網であるJR東海道本線、国道1号及び東名高速道路が狭い海岸線に集中しており、これらが寸断されると、地域住民の生活に大きな影響があるばかりでなく、日本経済にも大きな打撃を受ける重要な地区です。

当地区は、糸魚川－静岡構造線に近接する急峻な地形で脆弱な地質からなる地域であり、豪雨や今後発生が懸念される東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることから、平成16年度より学識経験者からなる「由比地すべり対策検討委員会」の意見に基づき調査・検討を行っており、平成17年度からは国土交通省富士砂防事務所により地すべり対策事業を実施しています。

第8回委員会では、過年度委員会において地すべり対策計画策定の必要性が指摘された大押地区について、その地すべり対策計画を策定することを目的として、指導・助言をいただきました。

3. 第7回 由比地すべり対策検討委員会の概要

- (1)日時：平成26年10月20日（月） 13:00～15:00
- (2)場所：JR静岡駅ビルパルシェ
- (3)委員：別紙1
- (4)事務局：国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所
静岡県建設部河川砂防局砂防室

4. 検討結果の概要

第8回委員会での検討結果は別紙2に示すとおり。

5. 解禁

指定なし

6. 配布先

静岡県政記者クラブ

7. 問合せ先 国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所

TEL：0544-27-5221（代）

副 所 長 加藤 敏文
地すべり対策課長 有澤 俊治

第 8 回 由比地すべり対策検討委員会

出席委員名簿

(敬称略)

委員長

○土 隆 一 静岡大学 名誉教授

委員 (五十音順)

○石 井 靖 雄 独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ地すべりチーム
上席研究員(代理出席：杉本 宏之 独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ地すべりチーム
主任研究員)運 上 茂 樹 独立行政法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター
耐震研究監○小 原 寛 中日本高速道路株式会社 東京支社 富士保全・サービスセンター
所長

(代理出席：駒場 勝美 中日本高速道路株式会社 東京支社 富士保全・サービスセンター)

○後 藤 森 平 静岡県 河川砂防局 技監

○小 林 裕 之 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局長

(代理出席：木原 盛意 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局)

○滝 田 和 明 静岡県 危機管理部 危機政策課長

(代理出席：板坂 孝司 静岡県 危機管理部 危機政策課)

○田 中 範 明 国土交通省 中部運輸局 鉄道部 技術課長

(代理出席：山田 豊 国土交通省 中部運輸局 鉄道部 技術課 専門官)

○土 屋 智 静岡大学 農学部 教授

○寺 田 薫 静岡市 建設局長

(代理出席：山田 敏夫 静岡市 建設局 土木部 土木部長)

○藤 田 壽 雄 公益社団法人 日本地すべり学会 元会長

○村 松 浩 成 東海旅客鉄道株式会社 静岡支社 工務部 管理課長

○森 川 博 邦 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長

(代理出席：村山 貴紀 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所
管理第一課 地域調査係長)

○吉 田 桂 治 国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所長

○吉 松 弘 行 一般社団法人 斜面防災対策技術協会 理事

○若 井 明 彦 群馬大学 大学院理工学府 環境創生部門 教授

(○：出席委員)

第8回 由比地すべり対策検討委員会 検討結果

(1) これまでの委員会での検討概要

これまでの委員会における「地すべり防止工事基本方針」、「地震対策の基本方針」、「地震解析検討の基本方針」等の審議結果を報告した。

(2) 由比地すべり対策工の施工状況等

上記考え方にに基づき検討した山中ブロック、蜂ヶ沢ブロック、大久保ブロックでの地すべり対策工計画の概要と地震時の照査結果及び計画の進捗状況等を報告した。

(3) 大押ブロックの対策工の基本的考え方（案）

今回の審議により、大押ブロックにおいても、上記各基本方針に準じ対策を実施していくことを確認した。

(4) 大押ブロックの調査計画（案）

上記（1）に準ずる調査・検討として、地すべり対策計画を速やかに検討するとともに、地震時の照査を実施するための土質試験等の調査を実施していく必要性を確認した。

(5) 今後の検討

大押ブロックを対象とする地質及び土質調査を進め、地すべり対策計画の検討を実施していく必要性を確認した。